バスラ日誌(6月17日)-144号-

- 1 国際捕鯨委員会(IWC)第58回総会が16日夜(日本時間)開幕した。カリブ海の島国セントクリ ストファー・ネビスにおいて5日間の日程で実施されるそうだ。イラクに来てまで日本の捕鯨問題が影響 するとは思わなかった。J3の無音声大画面に日本の捕鯨船が鯨を仕留める場面が映し出され、海面が血 で赤く染まっている。航空輸送調整担当 も「鯨を捕るのは良くない。」と言っている。『日本人には、昔から鯨を食べる れる 習慣がある。野蛮だと思う?』「思う。」『でも、日本人も150年前までは、牛を食べるのは野蛮だと 思っていた。』「今は食べるだろ。」『150年前に西洋文明が入ってきてからだ。』「豚も食べなかっ たの?」『4本足の動物は食べなかった。魚と鳥だけだ。』「宗教的な理由か?」『仏教の影響かもしれ ない。日本人はみんなベジタリアンだった。』「でも鯨はね。そんなにたくさん食べるのか?」『私は、 もう何年も鯨を食べたことはない。殆どの日本人もめったに食べられない。』「特別の料理なんだね。」 (違~う。私が小さい頃は庶民の料理だった。いつも鯨でイヤになったくらいだ。肉が高くて買えない とき、魚や鳥、鯨でタンパク質を摂っていたんだ。反捕鯨国がとらせてくれないから庶民には手が届かな くなってしまった・・・と言いたかった。)もっとしゃべれたらちゃんと説明するのだが、英語に直せる 節囲で答えているので、かなり適当な説明だった。でも良かったかもしれない。英国が反捕鯨国の親分と は知らなかった。あまり余計なことを言って、ヘリ支援を減らされたら困るから。
- 2 バスラエアーステーションの食堂には、食堂に対する意見を書くノートが置いてある。このノートに、 改善を求める意見を書くと、食堂の対応が迅速ですぐに改善される。例えば、今までなかったテーブルク ロスを設置したり、サラダドレッシングの種類(マヨネーズとマスタードが増加)を増やしたり、そして 料理の味をかえたりと急速に改善される。さすが民間会社(KBR)と思うとともに、私も業務において 改善できる点はすぐに改善しなければならないと感じさせられた。
- 3 遅くなりましたが、クウェート分遣班 お誕生日おめでとうございます。こちらでも昨日 の誕生日でした。本日快晴、ここ数日、朝晩涼しく過ごし安し。バスラ4名、極めて健康。 因みにエリザベス女王もお誕生日。80歳とのこと。